

I

問1

Petrol は、petra「石、岩」+oleum「油」からなるラテン語の petroleum がフランス語を経由して英語に入ってきた語。そのため、ここでは（石油を含む）広義の「油」を意味する語を本文中より探せばよい。この語が「石油会社」を連想させたためか、state-controlled や petrochemical などの誤答が目立った。

問2

出来不出来のわかれる問題となった。住民の数を超えるほどの外国人労働者が来る状況を、具体的な数字とともに説明した解答も少なくなかった一方で、「いかなる出来事を指しているのか」という設問に答えず、「人数が多すぎる」といった、出来事に対する評価に焦点をあてている解答もみられた。

問3

正答率が低かった。下線部③の直前部分を誤読し、「農民が多く金を要求するが拒否され金を失うことの恐怖から土地を明け渡した」「稼ぎを手放すことを恐れて妥協した」などとする解答が目立った。

問4

大半が正答であった。成句の意味を覚えていなくても、stay のニュアンスなどから類推し、消去法で正解を選ぶことができる問題であった。

問5

過半数が正答であったが、pool of working people の pool を poor と読み違えて、「貧困層の労働者」とした解答、revive を revise と読み違えて「再検討する」と訳した解答、shrinking をそのまま「縮む」と訳した解答、short of workers を「短期職」や「短期間労働者」と訳す解答が散見された。また、「コロナ禍のロックダウンが解除され」たために「ポーランド経済は回復している」と読むべきところについて、原因と結果を逆に捉えた解答もあった。

問6

大半が正答であった。Soft を「甘い、寛大な」と解釈できれば、その対義語として選択肢中で適切なものはひとつしかない。

問 7

下線部 7 を含む文に続く文から、適切なフレーズを抜き出した解答がほとんどであった。

問 8

戦争勃発前に多くのウクライナ人、とくに男性がポーランドで働いていたことと、戦争避難民のほぼ全員が女性と子どもであったことについては、約 6 割の解答が適切に指摘できていた。ただし、「ポーランドの人手不足がどうなったか」という問いに答えず、「ポーランドで働いているウクライナ人男性が帰国した」というところで途切れている解答も多くみられた。

II

問 1

問題文によれば、“the conservative circles”は家族(制度)が脅かされることに懸念を抱き、LGBT 理解増進法案に反対している。半数ほどの解答は、“the conservative circles”の人びとにおける最大の懸念が家族に関連するものである点を指摘できていた。ただし、ここでは家族制度をめぐる問題が焦点になっているので、「家族の団結」などの曖昧な表現をもちいた答案については減点した。

問 2

“The clause”は、法案審議の最終段階で挿入された、全ての国民が安心して暮らせるよう留意することを明言する条項を指す。この条項がどのように受け止められたかを述べた箇所を抜き出した解答は不正解とした。

問 3

下線部の大意は、トランスジェンダーのふりをして犯罪を実行するケースはごく少数あったかもしれないが、女性と子供の安全を訴える団体はそれらを法案に反対するために利用しているのだと、当事者団体は主張しているということである。“there may have been isolated cases”の仮定法ならびに isolated の意味が取れていない解答が目立った。さらに、誰が何を利用しているのかを理解できていない解答も半数ほどあった。

問 4

本問は、多くのトランスジェンダーの人びとが入浴施設には行かない理由を本文に即して問うものである。公共の場では、トランスジェンダーの人びと自身が何らかの不快な事態に直面するかもしれないために身体を見せることを躊躇しがちであることがその理由として示されている。比較的よくできていたが、誤答の多くは不快な思いをするのは他の入浴客

であるというものであった。

問 5

比較的よくできていたが、“regardless of”が“the number of actual cases of transgender women using public baths”にかかっていることを正確に訳出せずに「にもかかわらず」とだけ訳した解答や、“debate over the law”の over を「の」「をこえて」などと訳した解答も目に付いた。また、“the law”（「この法律」「その法律」「LGBT 法」）の“the”を訳出せず曖昧な訳となったものや、現在完了形と過去形の判別がつかない訳も散見された。訳文全体の意味が異なってしまうこともあるため、細部まで正確に理解して訳すことが必要である。

問 6

“Japan Onsen Association”に対して LGBT 理解増進法に反対するよう求める声の多くは、「男性の体を持ちながら女性を自認する人びとが、女性用の浴場に入ってくるかもしれないことを懸念している」のであるが、解答のなかには「歴史的に銭湯で男女混浴は一般的ではなく、性別によって分けているところがほとんどだから」、「温泉は日本の文化であり、歴史的に混浴は一般的ではないが、今は大半が男女で分けられている」といった日本の文化の問題と読み取った誤答も多く見られた。

問 7

問題文では、日本以外の国々においてトランスジェンダーの人びとの受容と承認が進んでいることと、日本への外国人の入国が増えていることが、入浴施設における問題を複雑化させる背景として指摘されている。これに合致する選択肢は b と c であるが、両方とも正答できた解答は半数に届かなかった。